夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

新感覚と最高の技術
DPとカメラの店
富士商會
平駅前

また第二北洋丸転覆

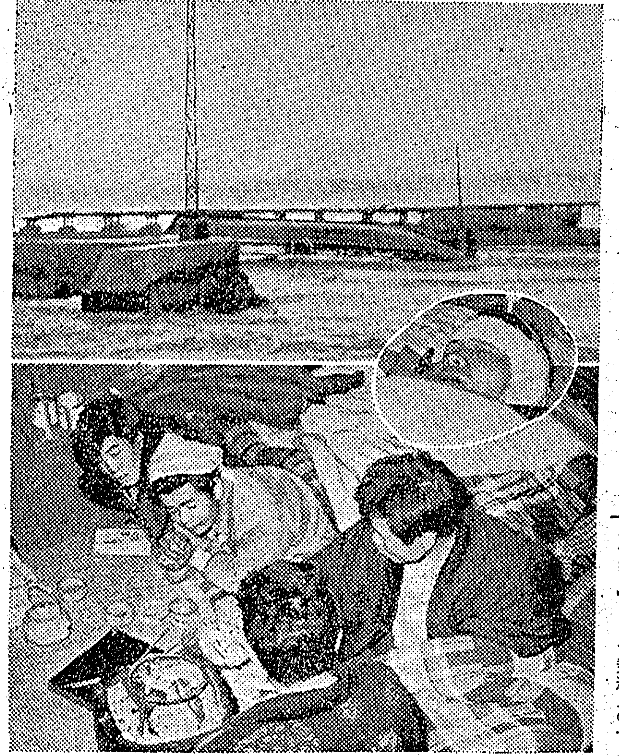
十一名投げ出さる

一名行方不明 他は救助さる

十一日午前六時二十分ごろ四倉町新町長谷川文太郎さん（四三）所有の底曳漁船第二北洋丸（一六トン）船長長谷川文太郎さんほか十一名乗組＝が操漁を終えて入港しようとした際激浪にあおられて磯に坐礁したはずみで転覆し甲板に出ていた長谷川船長ほか九名は海中にほうり出され漁夫工藤繁夫さん（二三）＝岩手県下閉伊郡山田町境田＝は激浪にさらわれて行方不明となり機関部にいた機関長長谷川四郎さん（五六）＝四倉町新町＝と機関手依田茂男さん（三四）＝横須賀市安浦一ノ一九＝の両名は閉じ込められて脱出不能となつたが傳馬船でかけつけた救護隊が船底を破つて救出全員無事傳馬船に救出された、なお同港入口では一昨年も底曳漁船が坐礁転覆二度目の事故である

なお傳馬船を指揮して救作助業に当つていた四倉町海難救護会救護部長田中宏さん（三六）＝四倉町新町字幌川一一一＝は乗つていた傳馬船が激浪をかぶり転覆ほうり出されて防波堤にたゝきつけられ左肩を打撲直ちに平市才槌小路大河内医院にかつぎ込まれたが左さ骨骨折せきずい損傷全治六カ月の重傷

このさわぎで同町消防団、海難救助会員、町民など六百名が出動、傳馬船十隻をこぎ出して工藤さんを捜索しているが午後一時現在発見されず絶望視されている、転覆した第二北洋丸は去る八日朝宮城県鮎川港を出て金華山沖でナメタタコなど六百貫を漁獲帰港したもので乗組員たちは入港する際の慣しで機関部員を残して全員甲板に出ていたもので流失した船具の一部は港からおよそ三百米はなれた海水浴場附近に打ち上げられた



（写真は転覆して船底を上に向ける第二北洋丸と船長宅で休養する救助された乗組員たち、円内は重傷の田仲さん）

船尾に大波 転覆の模様を語る

行方不明となつた工藤さんは昨年十月一日同僚四人と出稼ぎに来たもので明朗で真面目な青年だつた

なお救助された乗組員たちはずぶぬれのまゝ長谷川船長宅に収容され休養しているが乗組員の一人長谷川隆三さんは転覆のもようをつぎの如く語つた

激浪とたゝかいながら金華山沖から直航危険だとは思つたがいつものコースで入港しようと港の入口まできたところ船尾が大浪であおられ舵がきかなくなつて「アッ」と思つた瞬間入口の傍の磯に乗り上げ横浪を喰つて転覆したもので私たちは海中にほうり出されたが夢中で泳ぎ続け船底にはい上つてかけつけた傳馬船に救い上げられた

七大政黨の立會演説會

來月四日開く

法政大学弁論部主催の七大政党立会演説会および学術講演会は四月四日午後一時から湯本町公民館にひらく

〃魔の海〃を清める

きのう海上施餓鬼供養営む

もう海上の事故が起きないようにと小名浜漁業協組と同機船底曳網漁協組が共催し十日午後から弱丸第五福丸、第三千代丸を次々に呑んだ〃魔の海〃を清めるための海上施餓鬼供養が始めて行われた、この日十三名と運命を共にした第三千代丸の僚船第一千代丸（二六トン）に同町古港浄光院住職久野純弘氏、修生院住職酒主亮道氏の僧侶二名のほか渋谷延縄漁業組合長ら船主代表が乗込み花輪、塔婆、五色の弔旗、供物、樽酒などを積んで正午ごろ出港した、一時遭難を噂された千代丸の乗組員宍戸和三君（二二）が舵をとり第二明神丸（一九トン）第三福丸（三四トン）第五神洋丸（三五トン）がこれに続いた

風がやゝ強いため港外に出るとウネリが強く僧侶のお経とカネの音はエンジンと船体に打当る波の音で掻き消されそうになるがその合間を抜けて朗々たる読経は海難者よ安かれと四方の海に拡がつて行く…、漁師にとつて航海の目標物となる阿武隈の連山も悲しみの今日は鉛色にくすんで見え、その山肌のところどころに白い残雪がくつきり浮出しているのも印象的だ、暦三月といってもなお肌寒い潮風を身一杯に受けてどの船も甲板は沢山の人が出て沖の彼方を見ている、この方向だろう、あの辺だろうと第三千代丸の沈んだ海を指差し僧侶に呼掛ける、約四十分程走つた三浬の沖合に来ると江名中の作港が見え塩屋崎もかすかに遥望出来るころになると船団は右に大きく迂回を始め僧侶のお経も一段と大きくなる、線香が各人に渡され先ず花輪と塔婆が海に投下され、供物、樽酒、五色の弔旗が次々と海に投込まれ線香もめいめい船べりから思い思いに投ぜられた、この花輪の中心に各船は白くぐるぐる三回廻り始めた、丁度このとき海神の使者を思わせる一羽の若いカモメが飛来し花輪の上を何べんか繰返して高く低く飛交い悲しみの人達の眼を見はらせた、そして北東の方向に当る海に深く深く頭をたれた「亡霊よもう二度とこんな悲しみが起きないように」乗込んだ誰もがこう祈るのだつた、ようやく帰途につくころ離れかけた花輪の附近には数羽のカモメが乱舞していた、海の鳥も一緒に今日は海上安全を祈つて呉れるかのように―、大きなウネリに追われながら船団が帰途についたのは一時過ぎだつたが寒い甲板には二人の僧侶がいつまでも佇ずんでじつと沖の方を見つめていた港外の綱取三崎はウネリが高いためか波を白く嚙んでいた

（写真は小名浜沖の供養 花輪の投下）

平工は競争激甚

高校の願書締切る

二十九年度県下高校入学試験応募者の願書は十日締切つたが、どこも定員を突破する狭き門で特に平工高機械科は一・五倍強の競争率となつたが採鉱冶金科は応募者が定員に満たなかつた、平市内四高校の応募者数つぎの通り、カツコ内は定員

▼磐城高四百九十名（四百名）
▼磐女高五百三十名（四百名）
▼平商高三百六十九名（一百五十名）▼平工高四百三十一名（二百八十名）＝内訳、電気科百三十名（百名）採鉱冶金科三十七名（五十名）機械科百六十五名（八十名）土木科九十二名（五十名）

妙なクセ

尻上りの言葉

ムツゝリ右門じやないけれど滅多な口をきかず、何時も真一文字に口を結んで笑顔などなかなか見せない、平税務署間税課長相沢作内氏の第一印象がこれである、六年ほど間税課長のポストにあり、ヤミ酒の取締りや清酒の品質向上を計つたり、酒税の徴収を促進したり酒には切つても切れぬ縁にありながらちよこの三杯もやればすぐゆでダコになる、それだけ酒に敏感だから酒にごまかされる?ようなことがないのだろう

相沢さん

山形の天童町の出身、こゝは将棋の駒の産地だが碁将棋は全然駄目、趣味といえば謡曲だけ（観世流[illegible]年生れだからカケゴトが好きかと思うとこれもやらない、お顔に似ずアマ党、言葉つきが尻上り、これがクセで笑声まで尻上り、性格がおつとりしていて部下には口やかましくない、本人は感じてないようだが眼光ばかりメガネの中からピカつかせ、態度がおつとりしているだけに貫録はある、タバコがなくなると用意のキセルでスパスパやるのも課長級の中では変つたクセかしらん

（平税務署間税課長）

山分けから紛争

赤井村塩田で

赤井村塩田部落に山林をめぐる騒ぎが持上つている…同部落の村有林百廿町歩を昨年十二月の村会で部落に還元する決議を行つたので塩田部落の鈴木文夫氏以下六十一名の部落民が一人宛一町五反歩を分け合つたのである、ところが同部落の小林義郎氏ほか十七名はこの山の管理に以前から加入していたので平等の権利がある、除外したのは不当であると騒ぎ出したもので目下紛争中である

湯本の交通量

湯本町専門店会ではこのほど三日間にわたり上町踏切から温泉神社下までの商店街交通量調査を行つた、一時間平均歩行者（学生を除く）五百二十九人、自転車リヤカー三百五十一台、自動車オートバイ八十台で歩行者は午後五時から同六時までが一番多く七百十五人、自転車リヤカーは四百四十一台、自動車オートバイは午前九時から同十時までが多く八十九台となつている

人事消息

◇草野四郎氏（平商工会議所専務）左脚をねんざして一月四日から休養中だつたが殆んど恢復して三月から出勤している

◇小名浜航路標識事務所長富田七左衛門氏（小名浜海上保安部内）は宮城県大須崎航路標識事務所長に転任となり十二日ごろ赴任する、同氏は灯台長として小名浜に二十七年間も勤続した人、後任は塩屋崎航路標識事務所長橋場則文氏が兼務する

天気予報

十一日

【今晩】北東の風平地では雨、山間では雪がふりつづく、かなり降る見込み【明日】北よりの風初めまだ雨か雪後曇り晩には北西の風強まり晴れてくる、海上今晩から明日にかけ雪のため見通しが悪くシケ模様となるから注意を要する

青寫眞 藤森

保全經濟會はヘタでしたな
それは儲け一方でお客様にリベートしなかつたからです。カネボウ毛糸は超一流品ですが他よりもポンド百円安くしたばかりに圧倒的な売行です
◎カネボウ毛糸一ポンド千九百円
◎椿手〃 一六〇〇円
◎英国産セントイブ〃 二千円
學生用品大賣出し中
藤越
小名浜
平市

帽子は専門店で!!
平指定商連加盟店
エンドー
平・2 TEL1028

福島県セイコー会会員
祝 御卒業 御入學
根本の
貴金屬
メガネ
萬年筆
時計の店
根本
平市二丁目
電607番

ランドセル
学生カバン
売出し中
★ビニール 250円…450円
★豚革 350円…650円
★牛革 1000円…1600円
★高級ランドセル 2000円…5000円
カバンと袋物専門の店
平指定商連盟會員の店
平市二丁目・電317
福山

トーハツで今日も二倍の仕事する
トーハツ ENGINES
トーハツ消防ポンプで御馴染みの磐水社が贈るモーターバイク
PK-54型四・六馬力（大衆車）
パピー號二馬力（自転車用補助エンジン）
▼カタログ呈
株式會社磐水社
平市紺屋町二 電一七八

浮浪児が全く更生

八年間情の愛育

坂本さん夫妻の愛情美談

終戦直後のどさくさ当時乞食をしながら浮浪してきた家出少年をひき取り、八年近くも親身の愛情をそゝぎ立派な青年に育て上げ、今では祖母のもとに帰つて真面目に働いている―という珍しい佳話がこのほど明るみに出され評判をよんでいる

○…佳話の主は平市下平窪農業坂本三雄さん(四七)しめ子さん(四五)夫婦、坂本さんには長女栄子さん(二一)を頭に四人の子供がいる、この子供たちと一緒に育てられた話題の青年は三戸しげる君(二〇)で[illegible]年の一月から祖母の三戸ミツさん(七〇)の住む東京都北多摩郡国分寺町に帰り、この町の職業補導所に勤め「必ず出世して御恩返しをします」と熱心に働いている

○…三戸少年は北海道で生れた、父は農林省の技師であつたが生後まもなく病死、母は当時二十六才で他に嫁いだので三戸少年は父の実家（東京都世田カ谷区）に引取られ祖母の手で小学校一年生まで育てられた、祖父は歯科医を開業していたが間もなく病死した、祖[illegible]の性格は厳格で寝小便をして叱られたことから三戸は家出した、これが終戦直後の二十一年のごたごたした時代だつた、少年は北海道にいるというまぶたの母を求めて浮浪した、ある日安孫子駅で靴磨きをしていた賀谷観次郎(三八)という不良につかまり、その手下になり不良の世界に入つた

○―その年の十月、平に来た二人が坂本さん宅にきて物乞いしたがこれをみた坂本さんは痛く同情し「戦争で両親を失い、身寄がなく私たち兄弟で物乞いしている」というので市役所や市署に連絡して二人を引取り世話をすることになつた

○―ところが兄と偽つていた賀谷は一週間後に家出、三戸少年は性質の良くない賀谷と一緒においてはますいので坂本さんの妻の実家（赤井村西小川字上原建築業松崎一記さん）にあずけた、家出した賀谷は「将来弟の世話になるんだから三戸を返せ、返さぬと家に火をつけるぞ！」となんべんも手紙でおどかしてきたが、坂本さんは三戸少年の将来を考え、今度は自宅に引取りわが子と一緒に育てた

浮浪生活に慣れた三戸は乱暴で子供をいじめたり、こそ泥をしたり相当手古摺らせたが、坂本さん夫婦は辛抱強く三戸少年の愛育につとめた、温情を感じた三戸は次第に温和しくなり、坂本さん夫婦を〃お父さん、お母さん〃と呼ぶようになり、家族の者との親しみも増してきた

○…だんだん三戸少年は自分の身元や過去の事情を語り、実家の東京をなつかしむことがしばしばだつた、坂本さんはそれから毎年新正月に東京に連れてゆき、都内を見物させ去年の暮で七回目の見物をした、三戸少年はこれを何よりの楽しみとして働いた

○…坂本さんは教育委員の鈴木寛一さんらと相談、学校に上げるワケだつ[illegible]籍されては困ると性質が治るまで待とうということからそのまゝになつてしまい、自宅で勉強させていた、将来は三戸少年を結婚させ好きな店でも持たしてやろうとすこしずつ貯金までしてやつていた、三戸が祖母の家を出たことを最後まで知らなかつた坂本さんは自分の弟として戸籍に入れようと千葉福祉事務所長にも相談したこともあつた、ところが今年の一月一日〃おかあさん、帽子が欲しいからお金頂戴〃といつて五百円をもらつて家を出たまゝ消息を断つた、坂本さん夫婦は心配していたが四日ほど経つて「ジゲル祖母に会えた」との電報を東京から打つてよこした、三戸青年はその後間もなく祖母と一緒に坂本さん宅を訪れ、一切の事情を話し坂本さん夫婦と涙ながらに別れた、三戸は現在年老いた祖母のもとにいて一生懸命働き〃必ずお父さん、お母さんに御恩を返します〃と再三便りを寄せ、坂本さんはこの正月、六日間北多摩に居る三戸の家に泊つてきたが、更生した姿に満足している

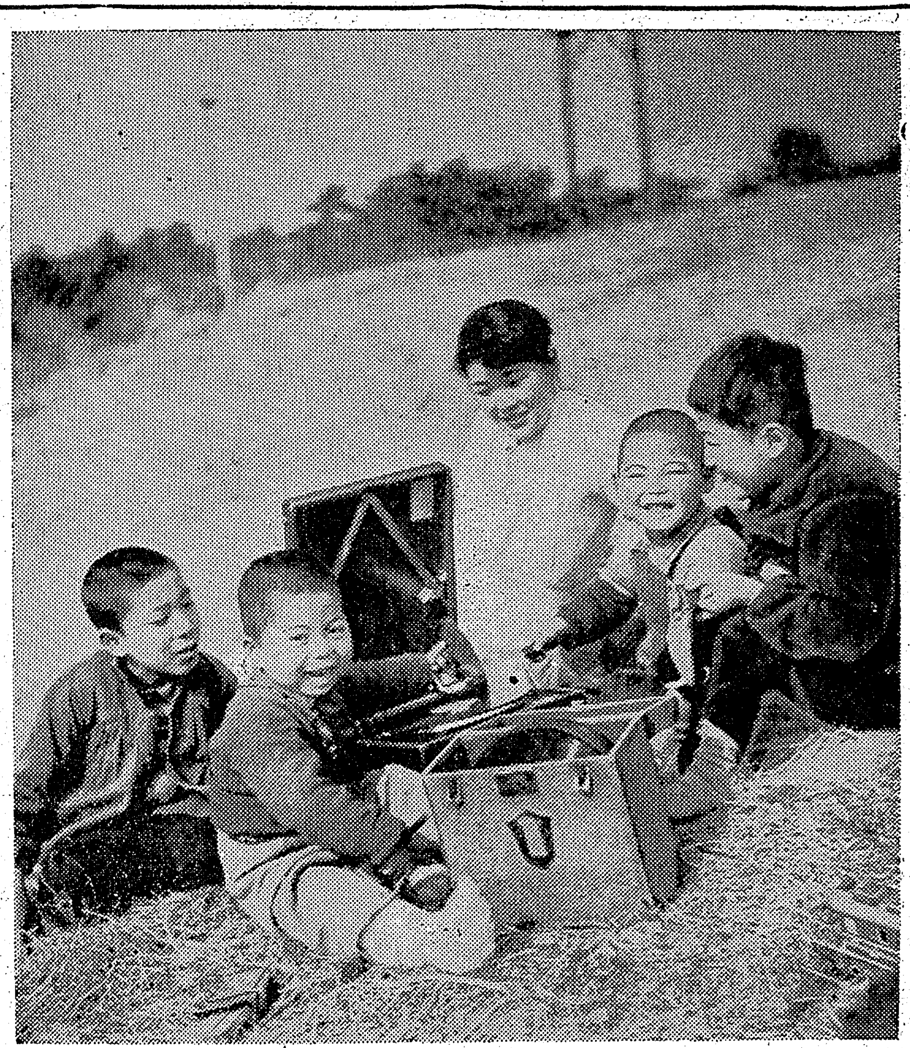
坂本三雄さん談＝利口な子供だつたですね、今では私よりも体も大きくなりましたが、永く手がけていると情もうつり、家出した時は本当に心配でした、賀谷という男は茨城県東茨城郡稲荷村の者だと判りました、東京にゆく途中二、三回列車内で会いましたが〃どうした〃というと〃百姓なんかやつていられねエ〃なんていつていましたが、最近は、虚無僧姿で平に来ているときゝました、シゲルは三戸家の相続人で親戚もなかなか立派な人ばかりです、よく更生してくれたので私も満足です

千葉福祉事務所長談＝なかなか感心な話です、家出したと後から知つて心魂を注いできた坂本さんたちは痛くがつかりしたようだが、親戚も良く安心してまかせられるでしょう、坂本さんの長女栄子さん(二一)は今年成人の日の懸賞論文で当選している、教育は熱心な方です（写真は主人の坂本さんと三戸青年）

私の傑作

療護園にて

宮本正三郎



暗い印象を受け易い療護園の子供達の生活は、常に明るくほがらかなその日その日を過しています、これはその一断片をカメラに収めたもの（肢体不自由児を収容する平市福島整肢療護園児の憩いのひととき）

リコーフレックス　リコーF三、五付　絞り八　シャッター五十分の一秒（整肢療護園勤務）

寸評　バックをボカして人物の印象を強め、それぞれの表情を面白くとらえている、中央の女性の白い服装が明暗調子に変化をつけ平板な画面を救つている、手前の子供のほうたいをまいた足が目にしみていたいたしく療護園の説明に効果的、演出上のクサ味がするが割とうまくこなしている、右肩の人物をレコードケースの側まで下げたら構図もしつかりまとまつた、この場合バックは女性の頭の上若干を残してトリミしても良かつたと思う

東部連青の役員決る

平市東部地区連青総会は十日夜開き役員を左の如く決定した、▼会長北島保（再任大町）▼副会長松崎四郎（新川町）▼会計国井辰三（新川町）鎌田町から一人▼庶務志賀博（正月町）▼文化部長は鎌田町から▼体育部長は六丁目から▼評議員鈴木剛二（大町）矢越忠雄（鎌田町）久保田陽一（新川町）

両主婦の會連絡協議會

湯本町婦人会と常磐炭鉱主婦の会の連絡協議会は十日午前十時から公民館にひらき生活改善および環境衛生について協議し次の三項目をきめ公民館と協力で積極的に促進することになつた

▽現在共同便所が町内に四カ所あるが不足しているばかりでなく非衛生的なので六カ所増設する▽公民館の婦人学級振興のため調理室を増築する▽結婚簡素化運動を強力に行い因襲的な感情の上に立つたしきたりを打破する

遠い街

84

宮森明夫

丸山久壽　畫

「とに角、あたしは、いやです あたしにだつて、選択する権利があるはずですもの」

「お前なんか、まだ人を見る眼があるかい。今の若いものは、どうもいかん。へりくつをこねて、親をないがしろにする悪弊があるい丶か、わしの家ではそういうことは、させない。家長は、あくまで家長だ」

「分つています。しかし、お父さん、あなたが、結婚するのじやなくて、あたしがするのですよ」

「当り前じやないか。いつ、わしが結婚するといつた。まあ、悪いことはいわん、どうだ、わしの言うことを聞いてくれ。あとで、後悔しても、とりかえしはつかないぞ。やり直しだけは、人生じやできないんだからな」

「だから、あたしは、いやですとお断りしているのです。いつまで、あたしだつて、子供じやありませんわ。自分自身のことに対しては、責任ぐらい持てます」

「子供じやないつて」

剛造はバカにしたように笑つて「口幅つたいことをいうんじやない。わしと、くらべたら、お前なんか、乳臭ブンブンだよ。世の中はそんなに簡単なものではないんだ。生活してみなけりや分らん。始めて酸いも甘いも分るんだ」

「どんなに、お父さんがおつしやつても、いやなものはいやです いやな人と、是が非でもお父さんは結婚しろとでも、おつしやるのですか」

きつとして父を見上げた由美の眼が、キラキラ光つた。

「無理にはすゝめん、誤解するんじやないよ。わしは、たゞ、お前の将来のことを考えるから、口を酸つぱくして言つているのだ。手鍋下げても、なんていうのは、余程、酔狂な奴だからな。やつぱり、金と名誉がなければ、駄目だ いくら立派なことを言つても、世の中では通らないんだ。金さえあれば、名誉なんていうものは小犬のように追つかけてくるつまり金という奴は、偉くなるための通行証みたいなものさ」

「そんな世の中なら、あたし、相手にしません」

「バカな奴だ、そんなこと言つたつて、どうなるものか、金力の支配をうけないで、生活することなんかできないのだ。いくら素晴らしい人間だつて、金のためにこき使われるんだ」

「そんな世の中なんか、知りません」

「駄々児！い丶か、由美、よく考えときなさい」

剛三が不機嫌に立上ろうとしたとき、妻に案内されて鳥宮信雄が入つてきた。由美は一瞬、瞼を輝やかして鳥宮をみた。

整形外科　外科
内科　レントゲン科
理学診療科
入院随時
【看護婦募集】
竹林病院
平市十五丁目大通り
電八一二・六〇八番
院長　竹林直吉
医員　中川増郎
永山徳二

江戸前壽司
割烹　小料理　和洋食　そば
◇明るく衛生的で手軽く安い
奈加やの味覚をゼヒ！
料理見習募集　16―20歳まで
出前迅速
奈加や
平[illegible]小路　電395

外科
胃腸科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公会堂通）
電話一一九五番

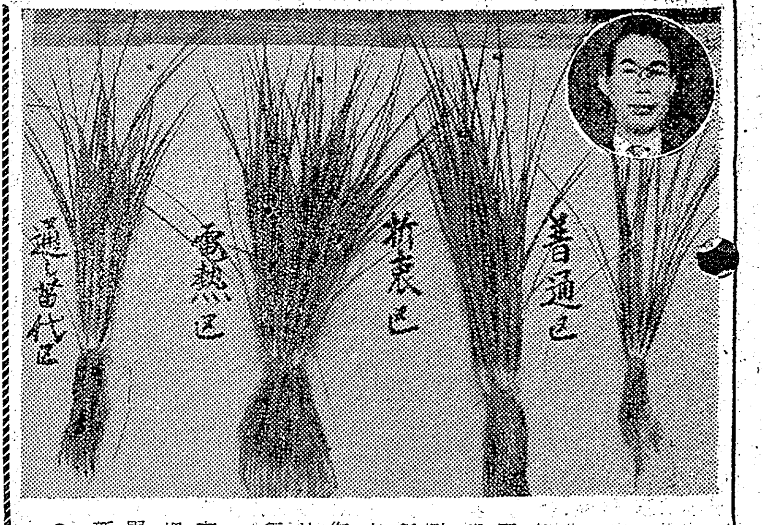
打綿はハヤクきれいに
スズキ製綿店
新川町　電四二二

ナショナル
電化による生活文化の向上へ！
毎日新聞工業デザイン入選
5球プラスチツクスーパー
DX－330
ナシヨナルラジオの3大特徴
1　アキのこない美しいデザイン
2　性能が確かで故障がない
3．均一な品質を誇る
ナシヨナル全製品特約店
藤越

外科　整形外科　性病科　院長　松村亨
主任　田邊勇成
内科　第一内科主任　岸本隆夫
胃腸科　呼吸器科　第二内科主任　岡崎仁
医員　小野實
婦人科　主任　松村亨
歯科　主任　松村政次
技工部　吉田吉之助
レントゲン放射線科主任　新妻春治
薬局　薬剤師　香山ナヨ
平市南町三三（駅より真直大通り三丁）
医療法人
松村病院
電話一〇七（受付、事務）
電話一六九六（第二病室）
電話一八九二（給食部）
看護婦募集

焼土法が好成績

鴇田氏の考案　きょう講習會開く



東北電力平営業所とき田明所長考案の焼土法は農業界から注目を浴び昨年は平市中神谷農業箱崎源之助さん方で苗代から稲収穫までの行程を焼土土壌によって実験試作されその結果冷害を克服した平年作を上廻る好成績を示したのを初め白菜採培、草花その他の実験が行われて好成績をあげ農業界から一層注目されて来た、今年は沢渡方面の山間地帯や高久、鹿島の平坦地、県園芸原種農場でも焼土利用による試作をするものが増加し新らしい話題を投げている

（写真は稲苗の育成状態比較円内はとき田氏）

とき田考案の焼土法は土壌の中の細菌を電気によって殺菌し農作物の育成を完全にしようとするもので昨年稲作について実験した結果は一茎の分結が折衷、普通苗代よりよく収穫は普通作を上廻った

また寒冷地では電熱温床の中で育苗すると健苗になり平均して収穫は一カ月も早かった、東北地方の一毛作地帯では将来この方法でやれば二毛作が可能であるという見通しもついている、それで本年はこの改良法を県、石城地方事務所東北電力とが協同して普及にあたるため、十一日双葉郡双葉町役場で第一回講習会をひらき、石城郡下でも近く講習日程を決めて指導することになっている

とき田明氏談＝焼土法は完全なものでないので一般の利用はまだ避けたいが農家がこの方法を希望するならば完全で簡単な操作によって出来上るように改良を加えたい、将来は東北地方も二毛作にしたいのだから学說的にどうあろうとこの方法が完全な成果を示すことになれば一般農家に勧めたい、好きで土いじりをしていた私が大それた収入を得ようなんては思っておりません、幸い農家の人々が焼土法がとても良い成績を見ているというので嬉しい

湯本、磐崎の合併

きのう正式に決議

湯本町磐崎村の合併問題の臨時両町村議会は十日午前十時からそれぞれの役場会議室でひらき磐崎村が編入合併を十四対十で可決、湯本町は廿四対一でそれぞれ可決し三十一日までに市制を布くことになった

しこり残る磐崎

この日磐崎村では合併絶対反対署名運動を行っていた西郷、藤原、馬玉、上下湯長谷部落の農民青年ら約二百五十名が手に手に反対プラカードやのぼりを立てゝ役場に押しかけ四十余名が傍聴席につめよせ残員は正午から村内のデモ行進を行って気勢をあげた、このため村議会は一時不穏な空気をみせ午前中は千二百五十二名による合併反対陳情書が出されこれをめぐってもめ、会議は午後まで持越され「合併すれば湯本町から一議員に二十万円の慰労金がくる」というデマも飛びごたすたしたが結局十四対十、無効一で合併を決議し午後二時四十五分閉会した、なお磐崎村の決議を期待していた湯本町では午後三時から臨時町議会をひらき二十四対一で決議し同六時から両町村議員が湯本町新鷹旅館に集まり合併祝賀の宴を張った、然し磐崎の反対は今後もしこりが残された形である

三部落問題も

佐藤主事の發言問題化す

小名浜町では松久須根、三沢、上矢田の三部落問題で町と県会の間で結んだ協約書通りに湯本へ分村させるかどうか注目されているが九日の町議会秘密会で県の佐藤主事が「若し小名浜が三部落を湯本に分村させなければ磐城市を県会が認めまい」と発言したため議会側がムクレ出し結局町と県が市長選挙後の六月三日ごろまでに三部落を湯本へ渡すかどうかをきめることにし県会の意向にかゝわらず磐城市の認可申請を提出することになった、ことが重大なために十日は午後一時から若月地方事務所長、佐藤主事、立花町長、各常任委員長、行政運営審議委員（元村議）を加えて秘密会をひらき十一日は立花町長、木田総務、菅原土木委員長らが出県し県と直接交渉することになったが、もし県の意見のように磐城市が認められなくなると全国的にも類例のない事態が引起しそうな形勢にある、なお小名浜町議会では今後も既定方針通り進むことになった模様である

平の合併問題

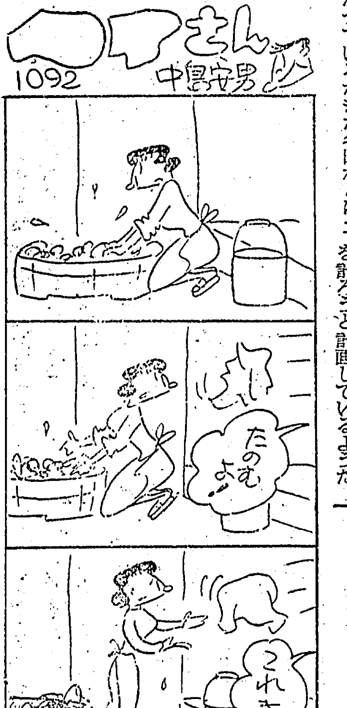
豫算市會の後に運動

小名浜町を中心とする磐城市や湯本町を主体とする常磐市など町村合併が愈々軌道に乗ってきたが平市が主体になって吸収合併しようとする草野、高久、豊間、夏井の四カ町村との合併促進はどうなっているのか－平市では新年度予算に最低の合併事務費を計上、漸次その都度必要に応じ追加することになっているがまだ各町村とは二同程度の打合せしか行っておらずこれも合併資料の検討程度にとゞまっており、本格的接衝に入るのは三月定例市会の終了後とみられる、市当局としては遅くとも二十九年一杯（十二月）までに合併の態制を整え、明春三月には平市始め各町村とも市町村長や議会議員の選挙が行われるので合併した上で新たな人選により大平市の運営を計ろうと計画しているようだ

凝似赤痢　内郷町宮字滝四〇渡辺久美子ちゃん（六つ）同町高坂字御殿一五十嵐礼子ちゃん（四つ）の両名は九日凝似赤痢で隔離された

昨年中賣られた人　二一七名

平地区署管内各防犯協会調査による二十八年度中の人身売買統計をみると売られた数男八十六名、女百三十一名、計二百十七名、年令別では十四才から十六才まで五名十七才から十八才まで三十八名、十九才から二十才まで五十六名、二十才以上百十八名、売られた先別は県内九十二名、東京二十三名千葉十八名、群馬十八名、茨城十二名、埼玉十一名、その他三十三名、売られた人の働き先別は女の接客業百九名、男の農業従事十七名、その他男六十九名、女二十二名



1092
中島安男
たのむよ
これも
着替は みんな 洗ったわ！

自轉車盗難防止の看板

最近めだって多くなった自転車の盗難を防止するため平市署では平市防犯協会の協力で〃自転車のカギを忘れるな〃と書いたブリキ製の注意看板三百枚をつくり市内のパチンコ店、飲食店、料理、商店魚市場、競輪場外売場などに配った、同署管内の年間盗難件数はおよそ二百件で盗難場所はパチンコ店と競輪場外売場が九割八分を占め一月中に盗まれた五十台のうち四十八台までが錠なしのもので盗まれたが最後見つかるのは二十パーセントぐらいだという

（写真は盗難防止の注意看板）

麻藥類盗まる

竹林病院に賊　中毒者の仕業か

去る一日午前零時ごろから同三時ごろまでのあいだに平市十五丁目竹林病院＝院長竹林貞吉氏（四七）＝の薬局に賊が入り小型金庫を破って現金四百円、塩酸モルヒネ、オピスコなど一CC入れアンプル百三十六本とモルヒネなど散薬七十五㌘合計三千八百円相当を盗んで逃走した、平市署では内部の事情にくわしい麻薬患者か麻薬密売者の仕業と見て捜査に乗り出した、モルヒネのヤミ値は公定価格のおよそ三十倍ぐらいになっている

特別青級卒業式

湯本町公民館では昨年四月から湯本一中に開設していた特別青年学級進学部の修了式を十六日午後一時から同館で行う、高校を受験して不合格になったもの二十八名が集まり毎日特別授業を受けてきたもので四月一日から解除されることになっている

巡回文庫配布

湯本町公民館図書部では部落の読書活動を促進するため八日鹿島、龍カ沢、関船、傾城辰ノ口の四地区に巡廻文庫十箱（二五〇冊）を配布した

校葬と決る

十五日に執行

昨報＝急行列車に轢かれ無惨の死を遂げた植田小学校々長舟生伊佐美氏（五三）の弔慰方法につい植田町では十一日午前十時緊急町会を招集し審議した結果、学校及び町教育委員会側よりの要望通り校葬執行の承認を決議した、校葬の日取りは来る十五日午後一時より植田小学校講堂で行われる事になった尚協議会の形式で磐農高普通科独立促進に関しては現町財政と睨み合せ善処する事になった

全勞に加盟

常磐勞組

常磐炭鉱労組（一万一千名）は九日常任執行委員会をひらき日本鉱山労働組合との合併と全労加盟を決め二十九日の臨時大会で正式議題として提案されるが日鉱でも三十一日からの中央大会でこの新組織問題をとりあげる予定

冷害對策工事

請負人決る

植田土木監督所では管内の冷害対策事業として田人村皿貝の道路改良工事及び山田村字山田道路改修、錦町国道側溝工事をこのほど請負入札に付した結果、皿貝工事は一八四万円で渡辺長作氏、下山田工事は一三三万円で植田町成瀬巳三氏、国道側溝工事は四十四万円で錦興業KKに落札した、いずれも三月一杯までに竣工の見込み

宮青年學級

内郷町公民館主催の宮青年学級は十六日午後六時から宮小にひらく講師平家庭裁判所家事相談員鈴木初子女史、科目は「家庭裁判にあらわれた離婚の諸相について」

内郷農事研究會

内郷町公民館主催の農事研究会は十日午後一時から同町綴字桜下三品勝男氏宅にひらく、講師は湯本農業改良課武野、中村両指導主事で科目は「馬鈴薯種消毒法と蔬菜甘藷温床の作り方」

入學を祝う會

内郷町立保育所児童の入学を祝う会は次の日程でひらく
▼十八日御厩（三三人）▼十九日宮（三七人）▼二十日綴（五七人）

電信科生募集

廿九日に締切

仙台電気通信学園普通電信科生徒募集がつぎの要領で行われている 募集人員は三十名で資格は昭和九年四月一日から昭和十四年三月三十一日までに生れた男女、第一次試験は三月二十八日仙台電気通信学園と福島電気通信部で数学、国語、英語、社会常識の筆記試験を行ない第二次試験は第一次合格者について四月九日第一次試験場で人物考査、身体検査を行う、入学は四月下旬の予定で修業期間は九カ月間、修業中は日本電々公社の訓練生として月額五千円以上を支給され授業料は不要で被服、教科書、教材を貸与する、寄宿舎の寮費は月三千円程度、願書締切は二十日まで詳細は平電報、電話局に問合せればよい

住宅向土地貸したし
▽環境良好▽平市内▽約三十坪▽委細面談
姓名在社（10）

情熱のルンバ奏でる
平市仲見世
BAR

平市銀座通電二七一
マル井

アナタの体温計は正確ですか
当店は毎月十五日体温計の無料検査を致して居ります
どうぞお気軽にお持ち下さい
皆様の
関内薬局　電40番

洋裁
夜間裁断科生募集
平デザイナー洋裁研究所　平市土橋電四八九
四月八日午後六時始業

生徒募集
洋裁教室　料理教室
◇昼間部
◇夜間部
◇週一回
土・日曜
4月10日より
公認申請中
ドレスメーカー
アカデミー
（洋裁研究所）
会場　いわき民報二階ホール
申込先　平市駅前村山書店

祝　入學　進級
机　小学生向　中学生向各種　高校生向
本箱　本立　文箱
硯箱　姫鏡台
各種
★記念品に最適！
家具の店
あるが
平・銀座通　電223

寿司部　出前迅速
才槌小路店　電話一〇二
江戸川
関西桃山料理　折詰仕出し
紅小路店　電話一四五六

刀匠 根本国虎

鈴木光四郎

國虎の作風（下）

筆者は刀剣には全くの素人であるので原文のまゝを紹介したい

眞改風と三品風とあり、身巾比合庵棟稍々急に姿良き華表反比鉄杢目肌美しく冴へて上品光強く「ヂフ」ありて平肉豊か匁絞焼出細く、五の目大乱、足入れ豊かに乱心あり、匂最も白く匂ふ。又ふつくりとして足入美事にえ美しく絡み刃の働き金筋打抜け砂流しあり、ぼう子幾分乱心に少しく反る。眞改門人中上手な刀工である。当時城主内藤公封内に命じて水の軽重、清濁等ことごとく試しみるに、平城内滝の坊（現在の磐女校脇の沢）の井、又は榾巣繁岡の井水等この水、京都の加茂川の水相類似すという。貞享、元禄年間鍛ふ所のもの最も多し

二代目國虎

名は国敦、鬼一郎、八三郎又は正太夫と称し刀銘は国虎と号した宝永元年に生れた。延享四年内藤氏が日向延岡へ移封されたが、辞して主君に随行せず、又は戸沢能登守の抱鍛冶となつたともいわれている。明和五年六十三才で歿したが、作風は初代国虎に及ばなかつたといわれている。

刀工名簿

享保四年（西一七一九年）将軍吉宗の命によつて、各大名は領分内の刀匠を書出したものが刀工名簿である。それによれば京都伊賀守金道弟子、和泉守藤原国虎子根本八三郎国虎（二代目国虎）とあり、又戸沢家の書上げには、羽州新庄住源長恒とあるが、戸沢家に移つたのは享保五年以後と想像されるのである。

磐城美術漫評

磐城美術漫評には次のように書かれている。貞享、正徳の間、天下鍛工森立、林の如し国虎何者ぞ、身陋巷に居り、その名九重に達し鑑命を蒙る。栄たる大なり。

金山神社

国虎は霊元天皇の勅命をうけて御剣を一口鍛えた。彼は一切の不浄を避けて鍛冶場に入り金山彦大神に御剣鍛工の祈念をこめ丹精を凝して作り上げた。天皇御意に叶わせられて幾多の恩賞を国虎に賜われた。国虎は面目をほどこし金山宮の御加護として、間もなく鍛冶町に社殿を創請した。これが鍛冶町に鎮座する金山神社である。

名刀國虎の所持者氏名

国虎の作つた刀は甚だ少く、所持者も少いが、平市附近の芳名を紹介すれば

平市南町 佐藤厳氏 壱振
刀銘 根本和泉守藤原国虎
菊紋貞享元年奥州岩城平住人
平市才槙小路五十嵐平吾氏壱振
刀銘 和泉守藤原国虎
菊紋 以おろし湯鉄作
平市中町 根本礼一氏 弐振
菊紋 和泉守藤原国虎
平市材木町 阿部傳六大氏
大なぎ刀 壱振
内郷町 四家文一氏 脇差 壱振
外に東京国立博物館 壱振

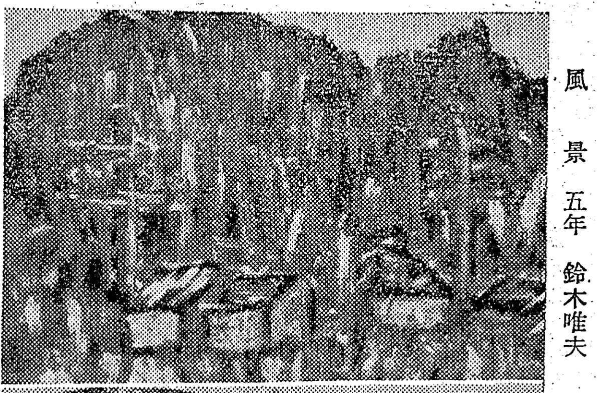
むすび

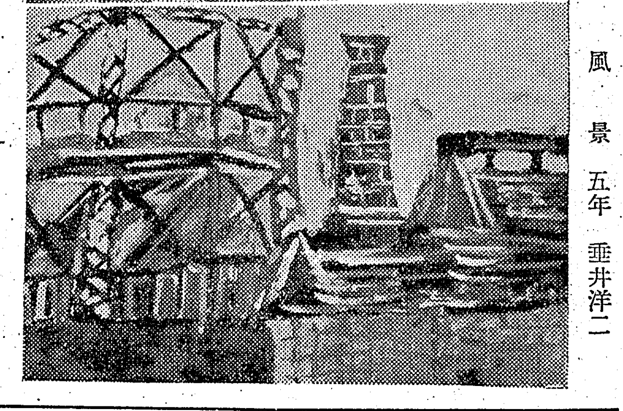
以上、国虎の生い立ちや作風を紹介した。根本礼一氏の史料によつたのである。根本氏は国虎の後しようとして、性源寺の国虎の墓に供養を続けている。私たちの郷土である平からは俳人内藤露せん、作曲家八橋検校、漢詩人天田愚庵、学者原坦山などのように秀れた人物が輩出しているが、それらの人に伍して根本国虎こそは刀剣界の名匠である。郷土の秀れた人物の一人である根本国虎を紹介して御批判をいたゞく次第である。

（昭二九・二・二〇日記）

学芸

平三小作品


風景 五年 鈴木唯夫


風景 五年 亜井洋二

雪

四年 **宇田川秀躬**

きのうふつた雪
朝おきてみると五センチぐらいつもつていた
ながぐつをはいて店の前の雪かきをした
それがおわるとごはんをたべて学校へきた
先生はおそうじがおわつたら
そとで 雪がつせんをしてあそびなさいといつた ぼくらはそとで雪がつせんをした
僕たちがかつた
きようしつで勉強をしているとなかにはの鳥小屋から
小鳥のなく声がきこえてきた
僕は雪がふつてうれしいんだろうと思つた
あそび時かんには先生やともだちと雪がつせんをしてあそんだ

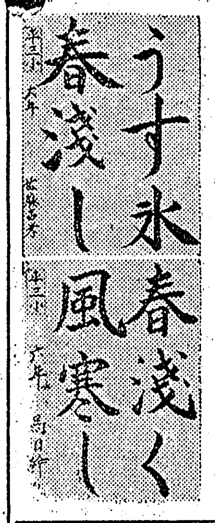
はいく

三ノ四 **金成武美**

春の雨
母をむかえに
いきました

あかいだけ
雪がまつしろ
きれいだな

ままごとの
子どもの父うさん
ただいまと


うす氷春浅く
春浅し風寒し

となりの犬

一の三 **鈴木通弘**

ぼくのうちにとなりのいぬがあそびにきます。いぬは、ねことなかがわるいです。そしていぬは、おもてで、よくあそびます。いぬはうれしいときは、しつぽをふつてよつてきます。しらない人が、くると、とてもほえます。いぬは、どんなに、とうくへ、つれて、いつてもひとりでかえつてきます。それは、じぶんのにおいをかいでくるのです。よるは、ねないで、おもてにでて、わるものが、こないようにばんをしています。いぬは、いろいろと、げいをおぼえてじようずにやります。どんなにはしつてもあせをかきません。それは、けあながないからです。いぬと、いぬでけんかをするときもあります。いぬは、人が、はしると、ほえながら、おいかけます。ぼくはとてもかわいがります。

圖書利用懇談會

湯本町公民館図書部では十三日午後一時からと午後六時半からの二回にわたり同館会議室で図書利用者懇談会をひらく、図書室の活動についてどう考えるかを中心に図書購入、読書会、読書指導などのあり方について懇談する

講座決る

小名成人學級

小名浜町公民館主催の成人学校は十五日から同月三十一日まで開校するが九日講座科目並びに講師が次の通り決つた、なお学校は毎夜七時から九時まで同公民館で行われる

▼十六、十七、十八の三日間新しい科学農業、換金作物の栽培荒井源助（県立園芸原種農場長）▼十九、二十日新しい家庭生活子女の教育と生活の合理化について広瀬敏子（婦人評論家、元日本女子大学講師）▼二十一、二十二日やさしい家庭医学安田善一（小名浜町富力浦病院長）▼二十三、二十四日これからの漁業菅野健一（県水試場長）▼二十五、二十六日郷土史（第二回）鈴木光四郎（平市第一中学校長）▼二十七、二十八日商店の経営（講師未定）▼二十九、三十日科学の知識磯崎平馬（日本大学第二工学部理学博士）

美人人氣投票

十一日午前十一時現在

ミスいわき

得票	氏名	住所勤務先
四九四	西脇昌子	平亀井商店
四六九	大井川美保子	〃常陽
三五二	黒沢佳子	〃尼子
三二八	齋戸さと子	〃地方事務
三〇一	渡辺洋子	〃鯨岡洋裁
二三三	小野きみ子	〃三井呉服
一五九	鈴木カツ子	常磐炭鉱
一四四	百足ふみ子	平商業洋裁
一三四	[illegible]木加代子	平湖月
二二九	折笠ユキ子	四倉セメント
七三	伊藤ハルエ	平矢対事務
六六	勅使河原久子	〃登柳会
六三	遠藤恭子	好間
五一	遠藤久子	平さゑ洋裁

いわき美人

得票	氏名	住所勤務先
五〇八	ひばり	平分枡美
四四六	金時	〃山形家
三九〇	高丸	〃辰巳家
三六五	深雪	〃久本
二六五	草野とみ子	大浦村
二五三	月奴	平浦舟
二三四	小舟	湯本久ノ家
二二〇	小菊	平福満
一九一	一奴	〃桐ノ家
一七九	阿部英子	〃電建
一七五	美鈴	湯本美ね本
一六九	満栄	平夢ノ家
一五一	長沢昭子	〃江戸川
一二五	小りん	湯本湯ノ番
八九	喜美丸	〃松ノ家
八八	京子	〃鈴本
五一	鈴木姿子	平田船

（五十票以下略）

來月十日から 本社で開催

ドレスメーカー

元東京城水ドレスメーカー女学院主任教授村山昭子講師を中心としたドレスメーカーアカデミー・スクールが来月十日から本社ホールを会場に開講することになり次の要領で会員を募集している

▼洋裁科【修業年限六カ月】会費一カ月三百円、毎週火、木、土（午後五時半より八時まで）【修業年限一カ年】会費一カ月五百円、昼間部▼クツキングAクラス【修業年限一カ年】会費一カ月二百五十円（毎週土曜日午後二時より五時まで）クツキングBクラス【修業年限一カ年】会費一カ月二百五十円、毎週日曜日（午後五時半より八時まで）▼申込みは平市駅前村山書店内ドレスメーカーアカデミー係宛▼講師、村山昭子、根本栄子（東京目黒ドレスメーカー女学院師範科卒、東京割烹女学校出身）太田良子（東京目黒ドレスメーカー女学院師範科卒、東京国際クツキングスクール卒出身）

内山中の學藝會

内郷町内小中校の合同学芸発表会は十日午後一時から内郷高校講堂に盛大にひらかれた、プログラム次の通り

▼劇 さらしな物語（二中）文福茶釜（内郷二中）アリババ物語（御厩小）アンパンさんさよなら（宮小）▼ダンス 森の精（白水小）▼合唱 仲好円舞曲（綴小）

今晩のラジオ

11日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五 （郡）四局通信
七・三〇 上方演芸会 林田十郎ほか
八・〇〇 歌の花ごよみ 渡辺はま子
八・三〇 君の名は 阿里道子ほか
九・四五 俗曲「花のとまり」
一〇・一五 リズムパレード 雪村いづみ

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・三五 夕の軽音楽 クガート特集
七・一五 坊ちやん社員
七・三〇 コミツクオペラ「呑気放兵衛」森繁ほか
八・〇〇 講談「太こう記」13回貞文
八・三〇 ミユージカルドラマ
九・四五 浪曲「慶安太平記」
一〇・三〇 夜のハーモニー トロイメライほか

今日の映画

各館とも十六日まで

☆平館 夜の部 六時五五分 第二次世界大戦 求婚三人娘
☆民劇 夜の部 六時五五分 犯罪国境線 霧鳴の湾（天）
☆聚楽館 夜の部 六時二五分 色彩マンガ（こゝ掘れ熊さん）愛の決断 吹き荒ぶ嵐
☆ひかり座 夜の部 六時二十分 今宵ひと夜を ママの日記
☆世界館 夜の部 七時十分 デイズニイ漫画（ミツキーの捕鯨船）鉄腕涙あり 娘恋黒田節

毛布
平専門店会の店
中野洋品店

大日紡のミユーロン製毛シヤツ半額奉仕中
絶賛 大黒屋だけがする催し春毛糸の會
大日本紡績製品 純毛トツプ染 オイラン防虫加工
オリオン毛糸
第一期宣傳期間 3月15日迄
半ポンド1000円を特別値段発表中
純毛トツプ染サザンクロス
特別奉仕品半ポンド
800円提供中
大黒屋支店
品質に値段に絶対自信ある 通学服とランドセル

カメラは田中

仙
四季の御召物は
仙台屋呉服店
平1. TEL 117番

★平専門店会主催美人コンクール★

投票用紙

いわき美人	ミスいわき
氏名（勤務先）	氏名（勤務先）

▼この特別投票用紙は会員店印け不用▼投票は平専門店会会員の店へ▼締切日は四月五日午後六時▼平専門店会会員の店ではお買上げ百円毎に投票券進呈★いわき民報刷込特別投票用紙

発走10時半
主催 平市
開場三周年記念
平けいりん
場外車券売場
福島市 郡山市 若松市 平市
月13 14 15 20 21 22

イワキセメント
各種タイル
建築用諸材料
株式会社 野内商會
平市四丁目 電11・1078